

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターすてっぷあいる		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 8日		～ R8年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	47	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	R8年 1月 8日		～ R8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○訪問先施設評価実施期間	R8年 1月 8日		～ R8年 1月 30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析されたうえで個別支援計画が作成されている。	家での様子や困りごと、事業内での様子、園での様子の聞き取りを行い、多角的に見たうえで分析し、職員間で課題や支援内容の検討を行っています。□	職員の研修等の充足を図り、職員の質を上げていくことで子どもの理解をさらに深めていけるようにしていきます。今後も保護者のニーズを把握していく為に、日々関係性の構築に努めていきます。
2	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものになっている。 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達が出来ている。	訪問前に事業内での様子をセンターの現場職員へ聞き取りを行い、園での様子の比較と課題の共有を行っています。また、相談に対する回答について適切なアドバイスが行えるように、職員間で話し合って検討を行っています。	的確な助言ができるよう、職員の質の向上を図るための研修を行って行きます。
3	子どものことを十分に理解し、子どもの特性に応じた専門性のある支援が行える□	子どもの状況や様子を十分に観察し、理解に努めています。また、それを踏まえ支援内容を職員間で話し合い検討を行っています。さらに専門職(OT,ST)との訪問同行により専門的アドバイスを頂き、支援に繋げています。□	職員の療育での専門性を高めるために、内部研修の充実を図ることを計画しています。 また、今後職員教育に力を入れ、質の向上を目指していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていない、または分からないと感じている保護者がいる。□	訪問日時を保護者へ伝達していないことにより、園に訪問し見えてくるかがわからないこと。 また、訪問した際に病欠等で見れない場合があり、必ず毎月フィードバックが出来ていない。また、再度見に行く事がスケジュール的に難しい場合がある。	訪問のスケジュール等の情報を保護者に伝えることができる体制作りと毎月フィードバックが出来る体制作りを検討していきます。
2	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されているか。□	毎月おたよりを作成し活動内容の報告を記載し、HP上にて掲示しているが保育所等訪問の活動内容等は盛り込んでいない。	保育所等訪問の活動内容の情報発信は今後検討していきます。
3			